

【取組方針】

- 新型コロナウイルス感染症の影響からの早期復活に向け、国内観光振興やDXの浸透等の新たな課題に対応するため、東京の観光推進機関として、観光関連事業者への支援をより一層強化していく。
- 本年夏に開催される東京2020大会の成功に寄与するとともに、国内外からの注目が集まる機会を捉え、東京の魅力発信および観光産業の復活に向けた取組を効果的に実施する。
- 近郊への観光、自然・健康志向、旅行の小規模化・分散化など旅行者の変化に対応した観光資源の開発や、観光分野におけるSDGsの達成など持続可能な観光を目指す施策を展開する。
- 東京への関心を繋ぎとめる効果的なプロモーションを実施するとともに、安全・安心な開催やデジタル化などMICE誘致の新たな競争条件に対応し、インバウンド回復期を見据えた準備を着実に進めていく。

主な事業等

地域の観光振興

東京2020大会時の賑わい創出に寄与するとともに、旅行者が志向する新たな旅行スタイルに対応した観光資源の開発、地域の観光団体や民間事業者等が行う取組等を支援する。

◆/● 東京2020大会を契機としたイベント開催支援

旅行者の都内周遊促進のため、地域のイベント等への開催支援

◆/◎ 滞在型旅行(ロングステイ)推進事業

新たな旅行スタイルの提供を図るため、多摩島しょ地域の滞在型旅行(ロングステイ)の取組を支援

◆/◎ 東京と近隣県の魅力再発見事業

観光需要の回復に向け、東京と近隣県が連携し、地元の魅力の再発見を促す国内向けプロモーションをオンライン等で展開

◆ 観光まちづくりサポート事業

多様な職務経験を有する社会人(プロモーター)を観光協会に派遣し、ノウハウを活用した支援を実施

◆ 日本文化を活用した観光振興支援事業

伝統芸能、伝統工芸、歴史的建造物等の日本文化を活用したイベント等の取組を支援

受入環境インフラの整備

観光産業の早期復活に向け、都内観光関連事業者等が行う新たな課題に対応するための取組や外国人旅行者の受入環境整備を引続き強力に支援していく。

◆/◎ 区市町村観光インフラ整備支援

区市町村が行う外国人旅行者向け基盤整備への支援メニューに「新しい日常」に対応したハード・ソフト整備支援等を追加

◆/◎ 観光施設の国際化支援

都内民間施設が行う外国人旅行者向け基盤整備への支援メニューに「新しい日常」に対応したハード・ソフト整備支援等を追加

◆ インバウンド対応力強化事業

外国人旅行者の受入環境整備に対する支援の対象者に、宿泊・飲食・小売事業者等に加え、観光バス事業者を追加

◆ タクシー事業者向け多言語対応端末導入支援

外国人旅行者の利便性向上のため、タクシー事業者に対して多言語対応等に活用できるタブレット端末等の導入を支援

観光情報の発信

東京2020大会の円滑な運営に寄与し、国内外に向けてレガシーの活用を図る。また、新たなツーリズムに対応するための施策を実施することにより、持続可能な観光の実現を目指す。

◆/◎ 東京観光情報センターの運営

オンライン観光案内による旅マエから手軽に旅の相談ができる機会の提供と、非接触型観光案内の試験導入を実施

◆/● 観光ボランティアの管理運営

既存のガイドツアーに加え、障害者や高齢者等に配慮したツアー、ナイトツアーの本格実施及び東京2020大会に係るレガシーツアーを実施

◆ 東京観光デジタルパンフレットギャラリー

多言語で様々な観光パンフレットを閲覧できるサイトを運営するとともに、利用拡大に向けた観光協会等へのPR施策を展開

◆/● 東京2020大会開催時における観光案内

東京2020大会開催期間中、東京を訪れる国内外のメディアや観戦客等が集まる主要拠点において臨時観光案内所を設置

◆/● 東京2020大会のレガシーを活用したPR

地元や近場の魅力発信やエリア内周遊を図るため、東京2020大会の会場がある1都4県が連携し会場や周辺スポットを巡るキャンペーンを実施

◆/◎ 国内旅行者向け広告の展開

都内における国内旅行者の増加を図るため、テーマ性のある広告(例：ガストロミ、ブレイジャー等)をトラベル誌等へ出稿

海外旅行者誘致

インバウンドの本格回復期を見据えた準備期間と位置付け、東京への関心を繋ぎとめるためのPRや、既存の市場別のプロモーション活動をより深化させ着実に実施する。

コンベンション誘致

MICE誘致における東京の国際競争力強化のため、安全・安心な開催に係る情報発信やデジタル化に対応したMICE誘致に必要な受入環境整備を支援し、官民の誘致体制の高度化を図る。

収益事業・その他事業

- 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業
- ガイドマップ等の販売事業：東京シティガイド 検定公式テキスト等の販売
- TCVBミーティングの開催：最新のトピックについてハイブリッド形式で開催
- TCVBビジネス交流会の開催：賛助会員同士のビジネス拡大の場を提供
- 企画調査事業：民間事業者との共同研究や有識者との意見交換等

凡例

◆ 既存事業 ◆ 一部新規事業 ◆ 新規事業 / ◎ コロナ対策関連 ● 東京2020大会関連

* 尚、詳細につきましては、以下よりご覧ください。

【令和3年度 事業計画】 [r3_jigyokeikaku.pdf \(tcvb.or.jp\)](https://www.tcvb.or.jp/r3_jigyokeikaku.pdf)

【令和3年度 収支予算書】 [r3_yosansho.pdf \(tcvb.or.jp\)](https://www.tcvb.or.jp/r3_yosansho.pdf)

◆/● 東京2020大会後を見据えた観光PR

大会後も観光目的地としての東京の認知度を更に向上させるため、オンライン広告やテレビCM等を活用したプロモーションを実施

◆ 多様なツーリズムの推進

海外媒体等を活用し、ブレイジャー旅行やガストロミーツーリズムなど外国人旅行者の多様な関心・志向に対応したプロモーションを実施

◆ 富裕層向けプロモーション

欧米豪に加え新たにアジアでの商談会等への出展、富裕層向けコンテンツの整備・発信を強化

◆/◎ インバウンド需要回復に向けたPR

インバウンド回復に向けて、安全・安心な東京の魅力の発信や訪都促進に向けたPRを実施

◆/◎ ビジネスイベント情報発信

SNS等も活用しMICE主催者等へ継続的にオンラインPRを実施するとともに、都内展示会の安全・安心に係る取組の発信を支援
海外MICE見本市に官民が連携して出展し、プロモーションを展開

◆ MICE施設の受入環境整備

都内MICE施設が行うハイブリッド会議開催に必要な設備導入に対する助成を実施

◆/◎ 国際会議の誘致・開催支援

国際会議開催資金助成について、ハイブリッド会議に係る機材のレンタル等に対して支援を拡充

◆/◎ ビジネスイベントプロモーション基盤の構築

国際団体本部の地域総会をハイブリッド形式により東京で共催

◆/◎ MICE専門人材育成事業

ハイブリッド会議の運営ノウハウなどテーマ別の講座をオンラインにて実施